

## LAN アキュライザーの導入(2) ーPC 再生系ー

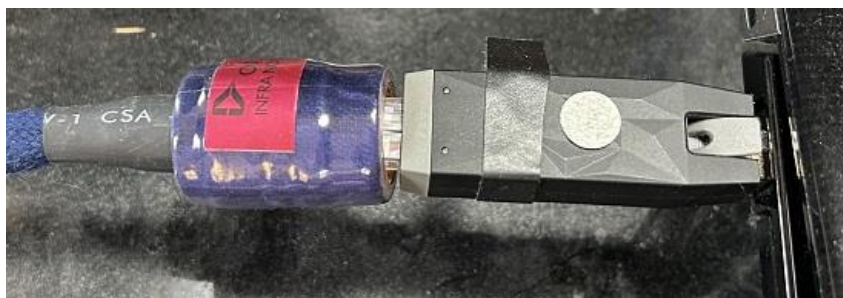
### 1. 始めに

前報(1)の評価計画に従い、順次 LAN 経路について LAN アキュライザーの効果を調べていきます。今回手始めに PC 再生系の LAN 経路について検討します。

### 2. LAN アキュライザーLACU-1 の試聴計画

今回は、スイッチングハブから PC への LAN ケーブルを対象とします。

LAN ケーブルの LAN リベラメンテを LAN アキュライザーに通し、PC の入力に近いところに寄せます。PC には、LAN iSilencer がすでに装着されていますが、そのままとします。



音源は下記のネットストリーミング再生とします。

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

マリス・ヤンソンス指揮ベルリンフィル

グスタフ・マーラー 交響曲 3 番

ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィル

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

CONCERTGEBOUWORKEST

Mozart Symphonie No. 35 'Haffner'

Bernard Haitink 指揮 アムステルダム コンセルトヘボウ

Spotify

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ

ヒラリー・ハーン

### 3. LAN アキュライザー LACU-1 の試聴結果

予め LAN アキュライザー装着なしで聴いておき、装着してから各音源を聴き直していきます。

リストのピアノ協奏曲 1 番は、キーシンのピアノの高音は煌びやかで、低音の沈み込みも明瞭です。バックのオーケストラは緻密で、特に大ホールに響きわたる低音の明瞭さが向上しています。

マーラーの交響曲 3 番は、演奏開始前の調弦からして自然な感じであり、大ホールに響きわたるホルンや低弦の音が豊かに感じられます。

ベートーヴェンのピアノソナタは、ポリーニの弾く Fabbrini の音の特徴がより明瞭になり、打鍵の直接音とヘラクレスザールに響く音とのバランスが向上します。

バッハのクリスマスオラトリオは、古楽器の音やソリストの声の質感がよりリアルになるだけでなく、合唱陣やソリストの歌唱はもちろん、ティンパニや通奏低音のオルガンの音までも St. Martin in the Fields 内に響く残響音がより明瞭になってライブ感が向上します。

Mozart の Symphonie No. 35 'Haffner' は、弦楽器のパートが滑らかになって、これぞモーツァルトという感じが増し、低音部の響きが豊かになり、コンセルトヘボウのホールの音響特性が把握できます。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタは、ヒラリー・ハーンのヴァイオリンの音が緻密になり、弱音も明瞭で、ピチカート之余韻もリアルです。

すでに、仮想アースや LAN iSilencer の効果で再生レベルが向上しており、はたしてこれらに対する上乗せ効果があるかどうかと思いながら試聴しましたが、上乗せ効果の方が大きいくらいであり、仮想アースや LAN iSilencer と調和しています。

### 4. まとめ

スイッチングハブから PC への LAN ケーブルに LAN アキュライザー装着の効果を認めました。特にライブ収録音源のライブ感の向上は特筆すべきものです。

以上